

厚生年金

赤字転落、国民年金も 年金運用損失響く

毎日新聞 2016年8月6日

厚生労働省は5日、2015年度の年金特別会計の収支決算を発表した。時価ベースでは、会社員や公務員が加入する厚生年金勘定が2兆7448億円の赤字だった。

自営業や非正規雇用の人らの国民年金勘定も5009億円の赤字。厚生年金では10年度以来、国民年金は08年度以来の赤字決算になった。

公的年金の積立金を運用している「年金積立金管理運用独立行政法人」(GPIF)による市場運用で5兆3000億円余りの損失を出したことが響いた。

ただし、運用の影響を除けば保険料と給付費の収支はプラスで、厚労省は「年金額には影響しない」と説明している。

厚生年金の保険料収入は、加入者の増加などで前年度比1兆5165億円増の27兆8361億円。景気回復で企業に就職し、厚生年金の対象となる人が増えたためとみられる。

厚生年金

2兆7448億円の赤字 国民年金08年度以来

毎日新聞 2016年8月5日

厚生労働省は5日、2015年度の年金特別会計の収支決算を発表した。時価ベースでは、会社員や公務員が加入する厚生年金勘定が2兆7448億円の赤字だった。自営業や非正規雇用の人らの国民年金勘定も5009億円の赤字。厚生年金では10年度以来、国民年金は08年度以来の赤字決算になった。

公的年金の積立金を運用している「年金積立金管理運用独立行政法人」(GPIF)による市場運用で5兆3000億円余りの損失を出したことが響いた。ただし、運用の影響を除けば保険料と給付費の収支はプラスで、厚労省は「年金額には影響しない」と説明している。

厚生年金の保険料収入は、加入者の増加などで前年度比1兆5165億円増の27兆8361億円。景気回復で企業に就職し、厚生年金の対象となる人が増えたためとみられる。

一方、高齢化で受給者も増えていることから、厚生年金の給付費は23兆2733億円に増えたが、給付抑制策の実施などにより、伸びは1233億円にとどまった。国民年金では給付費が964億円減少した。

厚生年金と国民年金 昨年度決算 ともに赤字に

NHK8月6日

サラリーマンが加入する厚生年金と、自営業者などが加入する国民年金の昨年度（平成27年度）の決算は、積立金の運用で5兆円を超える赤字になったことから、厚生年金は5年ぶり、国民年金は7年ぶりに赤字となりました。

厚生労働省によりますと、厚生年金の平成27年度の決算は、時価ベースで、歳入が4兆1559億円、歳出は4兆29008億円で、歳入が歳出を2兆7448億円下回り、5年ぶりに赤字となりました。

また、国民年金の昨年度の決算は、時価ベースで、歳入が3兆6180億円、歳出は4兆1189億円で、歳入が歳出を5009億円下回り、7年ぶりに赤字となりました。

赤字の理由は、公的年金の積立金を運用しているGPIF＝年金積立金管理運用独立行政法人の運用実績が、厚生年金で5兆81億円、国民年金で3兆416億円の赤字になったことによるものです。

一方、積立金の残高は、時価ベースで、厚生年金が前の年度より2兆7345億円減って1兆339310億円、国民年金が4兆898億円減って8兆7768億円となっています。厚生労働省は「GPIFでの短期的な評価額の減少によるもので、年金財政上の問題はなく、給付額への影響もない」としています。

年金3.2兆円赤字 15年度決算 5兆円の運用損 影響

朝日新聞 2016年8月5日

厚生労働省は5日、サラリーマンが入る厚生年金と自営業者らが入る国民年金の2015年度決算（時価ベース）を公表した。あわせると3兆2458億円の赤字。赤字は5年ぶりで、過去3番目の規模。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による5兆3千億円の運用損が影響した。

厚生年金は2兆7448億円の赤字だった。GPIFによる赤字は約5兆円だが、保険料率の引き上げなどで前年度より3兆8509億円多い収入があり、赤字幅を縮めた。国民年金は約5009億円の赤字で、GPIFによる運用損約3千億円と被保険者の減少による3261億円の保険料収入の減少などが響いた。

それぞれの収入のうち、給付に使わなかった計2兆3793億円はGPIFの積立金に繰り入れられた。（久永隆一）

年金積立金 4年ぶり減、運用不振で 3.2兆円

2015年度

日経新聞 2016/8/5

厚生労働省は5日、2015年度の厚生年金と国民年金の収支決算を発表した。合計の積立金は時価ベースで前年度末と比べて3兆2458億円減少し、142兆7078億円だった。減少は4年ぶり。円高や株安の影響で公的年金の運用が不振だったことが影響した。

年金積立金は公的年金を運用する年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の運用資産約134兆円と年金特別会計の積立金約8兆円を合計した数字。GPIFは15年度に5兆3千億円の運用損を出した。一方で年金の保険料収入が増えたことで厚生年金と国民年金の収支は合計で約2兆4千億円の黒字となっている。GPIFから国民年金への納付金3千億円弱を含めると、差し引きで年金積立金は3兆2千億円余り減った計算だ。

内訳を見ると、会社員が入る厚生年金の積立金は時価ベースで2兆7448億円、自営業者などが入る国民年金は5009億円のマイナスになった。厚生年金の保険料収入など歳入は45兆1644億円で、給付などの歳出が42兆9008億円。国民年金は歳入が4兆2346億円、歳出は4兆1189億円だった。歳入と歳出の差はいずれもプラスだった。